

令和3年度スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」  
(戦略的普及・マーケティングの実施)

令和3年度委託事業成果報告書 (素案)

令和4年(2021年)3月  
公益社団法人 日本トライアスロン連合

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、《公益社団法人日本トライアスロン連合》が実施した令和3年度スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」（戦略的普及・マーケティングの実施）の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

- **競技団体の経営力強化に向けた現状把握と課題整理**
- **NFマーケティングの必要性と方向性**
- **本事業の実施概要**
- **令和3年度の事業報告**



# 中央競技団体の経営力強化 に向けた普及事業の必要性

## 課題整理・現状把握

「現在のJTU短中長期計画の振り返り」と「予測される将来の事業環境」を踏まえ、新しい事業環境に適した経営戦略の立案が必要。

### 背景

2019年9月にJTU短中長期計画「トライアスロン=健康スポーツ計画」を策定し、以下に定めた目標の達成に向けて様々な活動を推進。

- 短期計画：2020年555ミッション  
(登録会員5万人、大会数500大会、愛好者数50万人) 達成
- 中期計画：2030年555ミッションの維持向上等
- 長期計画：トライアスロンの健康スポーツとしての位置確立等

一方で、2020年以降COVID-19の影響によってトライアスロンに限らずスポーツ界全体の事業環境が大きく変化したことで現在のJTU短中長期計画に沿った取り組みが困難となり、計画全体を前提となる「事業環境の認識」および「その中での競技の在り方」といった部分から見直しを行う必要性が生じてきた。

上記の状況を踏まえ、「国内の中央競技団体を牽引し、日本のスポーツ界を変えていく」という想いのもと、東京2020オリンピック後から新しい事業環境に適したJTU短中長期計画の策定し、競技の普及を軸に経営力強化の推進すべく、各種事業に着手している。

### 目的

- JTU短中長期計画の振り返りから、トライアスロンという競技の普及における価値を再定義する。
- 将来の事業環境を予測し、新しい事業環境に適した他の中央競技団体の模範となる普及事業の推進を行う。

## 戦略対象

事業環境の変化の影響を大きく受けていると想定される、競技の「普及」面を本事業の主なスコープとして推進する。

COVID-19の直接的な影響を受けていると想定されるため、計画の主な更新箇所であり、今回の提案の主なスコープとしている領域

「普及」と「強化」は両輪となって動くものであるため、普及をメインスコープとしつつもその中で求められるトップ選手の在り方などについても言及

事業環境に影響されない普遍的な部分であり、必要に応じて修正する領域



(出典) JTU将来構想「経営戦略の策定」より引用

## 社会全体の動向

COVID-19の影響で一見逆風に見える環境ではあるものの、「個人の趣味・生活に寄り添う」・「体験価値を訴求する」ことでトライアスロンの普及に向けたチャンスを作り出していくことができる。

### トライアスロンの普及に影響を与えるマクロ環境

政治 (Politics)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを成長産業化させるため、政府はスポーツ産業拡大に向けた支援を推進している</li> <li>また、高齢化社会により増加した医療費を抑制するため、政府はスポーツを通じた健康増進を方針として掲げている</li> <li>一方で道路交通法でラン・バイクが規制の対象となることによる、トライアスロンにとって逆風となり得る動きも存在している</li> </ul>
経済 (Economy)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費支出自体は落ち込む一方、個人の趣味・生活に寄り添った企業は業績を伸ばしている</li> <li>また、リモートワークなどワークスタイルの多様化により、個人の余暇時間は増加している</li> <li>年収1,000万円以上の高所得者層を中心に投資額は増加していることから、「おカネの使い道」がシフトしていると考えられる</li> </ul>
社会 (Society)	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19の影響による健康・運動に対する関心の高まりや、東京2020の開催によって短期的に国内でのスポーツに対する関心は高まることが想定される</li> <li>一方で感染拡大への懸念から大会・イベントの開催は制限され、従来の大規模集客を想定した仕組みは苦しい状況に立たされている</li> <li>その反面、抑圧された「体験」へのニーズを満たす様々な体験価値創出の取り組みが出現することにより、余暇時間の使い方はさらに多様化していくことが想定される</li> <li>世界的にSDGsへの関心が高まり、スポーツ界においても同様に視野に入れた対応が求められている</li> </ul>
技術 (Technology)	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信技術(5G)やデータ取得/解析技術の発達によって、より多くの情報を伝達する環境の構築が急速に発展している</li> <li>上記技術発展とCOVID-19による「巣ごもり需要」が組み合わせられることにより、「リモート」・「バーチャル」といったキーワードで様々なサービスが展開されている (スポーツ観戦の場においても、「新たな観戦体験」への取り組みを様々な競技団体が実施)</li> </ul>

政策としては追い風であるものの、長期的な競技普及にあたっては**法規制に対する対応も検討する必要あり**

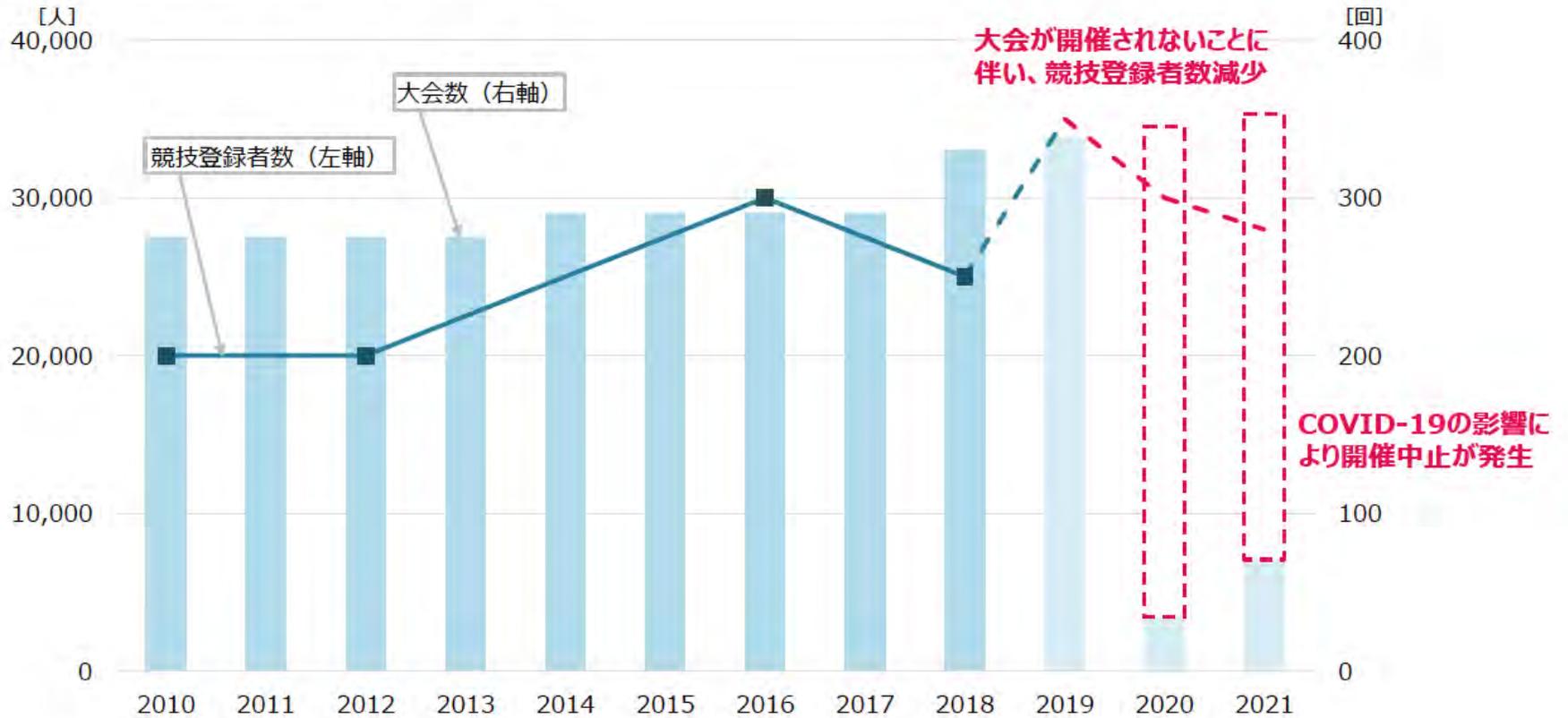
**個人の趣味・生活に寄り添い新たな「おカネの使い道」として選択肢に加わる**ことで、競技普及に繋げられる可能性あり

大会は制限されるものの、「誰もが経験ある競技」の組合せであるトライアスロンは健康スポーツとしての**社会的要請に即しており、体験価値の訴求と組み合わせることで現状を追い風とすることが可能**

今後の更なる変革が想定されるため、「みる人」に限らず、「する人」も考慮した**積極的な活用を検討する必要あり**

## 内部環境の動向

- COVID-19の影響から大会が開催不可となったことで競技登録者数は減少しており、大会に依存せず競技登録者数を維持・向上していくための仕組みの検討が必要となっています。



## 普及に向けた方向性

分析結果を踏まえ、地域の愛好者が自発的にコミュニティを形成・拡大していく仕組みを構築することで「大会に依存せず、愛好者の活動によって広がる普及の形」を実現していくことがトライアスロン普及に向けてのポイントになり、NF独自のマーケティング推進が不可欠である。

### 各種分析結果の整理

内部環境	自団体 (JTU)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大会の開催」を中心とした普及施策を主に展開</li> <li>収益は協賛金と大会開催関連が中心であり、トライアスロンファミリー内で収益を生み出す仕組み検討も重要なポイント</li> </ul>
	顧客 (競技登録者・愛好者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19の影響で大会が開催できず、競技登録者は減少</li> <li>一方で愛好者数は維持の傾向であり、地域の愛好者と向き合い「トライアスロンの価値」を見つめ直すことが普及の鍵となる可能性</li> </ul>
外部環境	競合 (他競技)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれの中央競技団体 (水泳・自転車・陸上) も2016年以降の競技登録者数が伸び悩み</li> <li>一方で、自転車・ランニングを中心に、オンラインで自宅にいながら競技や仲間作りを楽しむ動きが広がり始めている</li> </ul>
	マクロ環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19の影響で一見逆風に見える環境ではあるものの、「個人の趣味・生活に寄り添う」・「体験価値を訴求する」ことでトライアスロンの普及に向けたチャンスを作り出すことが可能</li> </ul>

### トライアスロン普及に向けた方向性(仮説)

- 愛好者に対するトライアスロンの価値を見つめ直し、**愛好者が地域のコミュニティを形成し、その中で自発的に競技の普及が拡大していくための仕組みを構築**
- 競技登録や大会参加をその普及サイクルを回すための一部として位置付け、新たに提供価値を再構築する(加えて、普及におけるトップ選手の役割も明確化)**
- 上記を実現するための手段として、**法規制の緩和、新しい技術の活用**の必要があれば積極的に取り入れる

中央競技団体の経営力強化に向けた  
NFマーケティングの重要性

# NFマーケティングに取り組むべき重要性

## NFマーケティング活動の目的

「する」「みる」「支える」人・団体（→顧客）を拡大（→普及）し、  
収益の拡大（→マーケティング）を図ること。

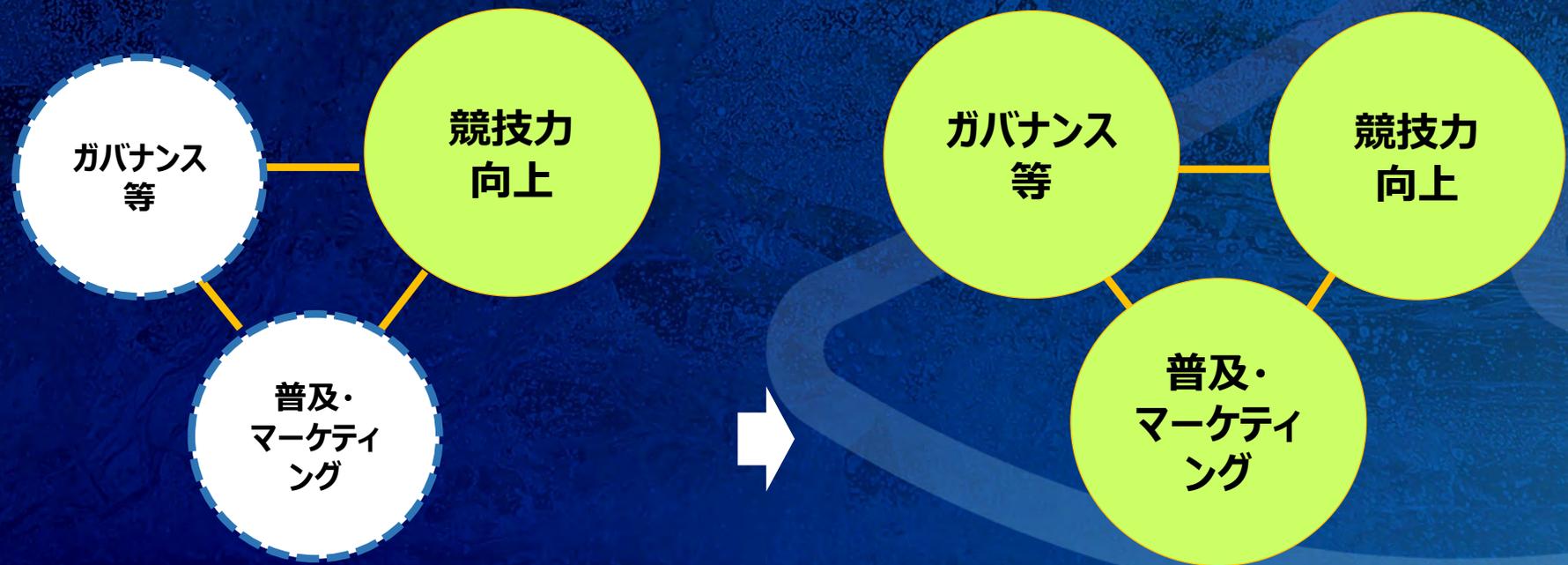
少子高齢化による人口減や趣味嗜好の多様化、2020オリパラ以降のスポンサー費や補助金減少など、  
外部環境が変化する中、NFが持続的に発展するためには、当該スポーツを「する」「みる」「支える」人・団  
体（=顧客）を拡大する（→普及）とともに、収益の拡大（→マーケティング）を図り、より多くの人・団  
体が当該スポーツの価値を享受する社会の実現を図る事が重要。

また、従来の「する」「みる」「支える」に加えて、スポーツが持つ価値を「活用する」事により、NF自身又は社  
会課題の解決に貢献し、収益やブランド価値の向上を図ることができる。

# NFマーケティングに取り組むべき重要性

競技団体が取り組むべきマーケティング活動の役割

競技力強化に偏重した組織運営を見直し、収益基盤の安定（普及・マーケティング）や組織のガバナンス強化に取り組むことが重要。



# NFマーケティングに取り組むべき重要性

## トライアスロンにおけるテーマの策定

### ● 競技への取り組み

どうすれば、トライアスロンに触れられるのか。

### ● こどもたちジュニア世代の競技環境の構築

強化・普及の両面を網羅する仕組み作りをどうするか。

### ● 少子高齢化・人口減少社会への対応

地域の課題にどうやって貢献できるのか。

### ● 東京2020以降のレガシーの継承

共生社会、多様性等の新たな社会課題とどのように連動するのか。

### ● コロナ時代への対応

安心安全な事業運営をどのように地域と共有していくのか。

### ● イノベーションによる成長や進化

サービス機関としての役割をデジタル等を活用してどう進化するか。

改めて「トライアスロン」を自己分析するために、

トライアスロンという競技自体を見直し、  
トライアスロンが、社会や未来に何を残すのか、  
トライアスロンは、何をしなければならないのか。

価値の再確認

社会への貢献

社会への還元

# NFマーケティングに取り組むべき重要性

## スポーツ「トライアスロン」による社会貢献

「地域振興」「地域活性化」となる

トライアスロンを通じた各種社会貢献事業を通じ、持続可能な好循環サイクルを生み出す



Triathlon SDGs



スポーツ庁が掲げる「スポーツによる地方創生・まちづくり」へと繋げていく

## NTT×Triathlon Official Partners Program

成長～変化～そして進化

### National Team

Road to Paris 2024 & Road to LA 2028

ナショナルチームプロジェクト

オリンピック  
ナショナルチーム

パラリンピック  
ナショナルチーム

### Ranking

NTTJapanRanking/Age Championship Series

ランキングプロジェクト

ジャパンランキング  
(特別協賛)

エイジグループ  
ナショナルチャンピオンシップシリーズ  
(協賛)

### Event

Sponsors Event

イベントプロジェクト

NTTジャパンランキング  
国内対象大会への協賛

日本選手権への協賛  
(日本選手権シリーズのうち年代別選手権)

エイジランキング大会への協賛  
(地域コミュニケーション戦勝)

+

タイミングパートナー  
(上記大会における公式記録パートナーとしての露出追加)

### Athletes

Athletes Support / Career Support

選手支援 / キャリアサポート

#### 個別選手支援

佐藤優香選手

北條巧選手

二ノ賢治選手

宇田秀生選手

#### 活動支援

(田山コメンテーター)

自然環境の保全

共生社会の実現

健康寿命の延伸

子ども達に  
スポーツを

女性参加者の増進

国際交流

Triathlon SDGs (トライアスロンによる社会貢献プログラム・2022年の6つのテーマ)

メディアプログラム (WEB/SNSの積極的活用) \*オウンドメディアの活用プライオリティを高める

トライアスロンDX (デジタルプラットフォーム)

# NFマーケティングに取り組むべき重要性

## 1 「トライアスロン・パラトライアスロンの街の推進

安全・安心でホスピタリティに溢れ、満足度の高い大会を持続的に開催し、次世代を担う子ども達をはじめ、誰もがトライアスロン・パラトライアスロンに参加・携わることができる機会を醸成することで、様々な場面で活躍できる人材をレガシーとして残すとともに、スポーツへの参加意欲を高めて健康増進を図るなどの街づくりを推進します



## 2 世界へ情報発信と国際化

ライブ映像配信、テレビ放映、大会WEBサイトやSNSをはじめとするオウンドメディア等の様々な広報媒体を活用して開催地の多彩な魅力を国内はもとより海外へ発信することにより、地域経済の活性化や地域ブランド等のさらなる向上を図ります。



## 3 すべての人が互いに認め合い共に生きていく社会づくり

人種・価値観・障がいの有無などにかかわらず、様々な人が大会に参加・携わることができる多様性のある大会運営を行うことで、すべての人が自分らしく輝き、共に生きていく社会づくり（ソーシャル・インクルージョン）に貢献します。



## 4 スポーツツーリズム推進による地域経済の活性化

国内外からお迎えした多くの参加者や観戦者等と開催地の観光とを融合させて、開催地の新たな魅力の発見につなげるとともに、トライアスロンの「する、みる、ささえる」通じたスポーツ観光に取り組むことで、地域ブランド向上と地域経済の波及に寄与します。



## 5 大会運営を通じた地球環境の保全と創造への取り組み

地方自治体および関係団体と連携した水質環境の改善や地球温暖化対策（ブルーカーボン事業等）への参画等による地球環境への負荷軽減の取り組みを進めるなど、サステナビリティの高い大会運営を行うことでイベントの持続可能性をサポートするための国際規格であるISO20121認証の取得を推奨するなど、海と陸の環境を軸としたSDGsへの取り組みを進めます。



## 6 パートナーシップによる大会づくり（感謝して未来へ）

持続可能性に配慮した大会の実現に向けて、協賛パートナーとの活発な共創による連携事業の推進はもとより、加盟団体、大会関係機関、協力会社、ボランティアなど、様々な方々とパートナーシップを築き、誰もが主役の開かれた大会を多くの方々の参加・協働により共に創り上げていきます。



## 「ESG」に配慮した取り組み

— トライアスロンの持続可能な成長と価値の創造 —

JTUはもとより、大会開催の地方自治体・LOCとも協力し、ESGの3つの観点に配慮した運営に取り組めます。

「ESG」の3つの観点に配慮した運営を行い  
「Triathlon SDGs」の達成を目指します



パートナーの皆さまに評価いただけるESG×SDGsを大会とともに構築します

JTUと大会(LOC)は、持続的な成長と価値の創造、そしてSDGsの目標達成により、  
長期的な成長をお約束いたします。



## 本事業の実施概要

## 事業趣旨・目的

### IT技術等を活用した「トライアスロン＝健康スポーツ計画」の推進

- ・社会課題であるスポーツを通じた健康増進について、中央競技団体として競技団体が持つ権利と会員基盤DBとITU技術・他産業サービスを掛け合わせ健康スポーツを切り口としたサービスを展開し、競技者の満足度の向上、競技者数の拡大を図り、「トライアスロンの健康スポーツ」として立ち位置の確立させる。
- ・本事業での支援も受け、NF自らが保有する権利・資産をNF自身で戦略的に活用し、自立した経営を推進することで、競技団体の成功事例としてのロールモデルとなることを目指す。

## ミッション・ビジョン・中長期戦略

**<Mission> 使命 (=目的)** トライアスロン競技の更なる強化・普及を図り、健全な心身の発達に努め、競技団体としての社会的地位向上を図る

**<Vision> 役割 (=目標)** **[組織]** スポーツ界をリードする信頼されるグローバルな組織の確立 (トライアスロンの社会的価値創出、安全・安心な競技環境整備)

**[強化]** 継続性のあるアスリートの育成強化 (オリパラでのメダル獲得、トップレベルの選手・指導者の強化、育成システム確立)

**[普及]** 社会に調和と融合するトライアスロンの普及活動の推進 (会員登録数、競技愛好者数、国内大会数の増加)

**<Activity> 活動 (=手段)**

- ・JTU会員登録価値の最大化
- ・国内大会の充実
- ・関連企業・メディア連携強化
- ・生涯スポーツとしての価値の最大化
- ・競技環境の整備
- ・トライアスロンムーブメントの創出

Visionの中の具体的な目標  
**「555計画」(普及のみ数値目標設定)**  
 ①会員登録数の増加：5万人 (2019年：3万人)  
 ②競技愛好者数：50万人 (2019年：37.5万人)  
 ③国内大会数：500大会 (2019年：290大会)

\* 図 : Activity 活動



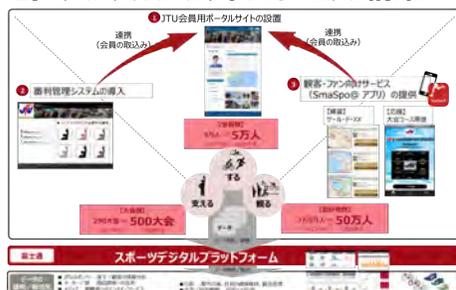
### 【戦略・実行計画策定】

目標達成 (現状とのギャップを埋める) に向け、会員登録や大会参加価値を高める施策を推進。

上記を推進するために「トライアスロン＝健康スポーツ計画」を掲げ本事業の実施を推進していく。

## アクションプラン

### 1) デジタルプラットフォームの構築



2019年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業」対象事業 (実施内容\*機能の要件定義)

JTU会員登録の価値最大化及びトライアスロンムーブメントの創出に向けて、JTU会員向け「マイページ」を充実させ、JTU会員の満足度向上、大会参加数増加につなげる。

### 2) SNSサービスの拡充



登録会員や関係者とのコミュニケーションツールとして動画を用いたサービスの展開を推進するため、専門チームを立ち上げ、動画サービスの収益化を図る。

### 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャルサービスの推進



バーチャルバイクアプリを活用したトレーニングサービス、オンライントレーニングサポートサービス、IoT端末・ウェアラブル端末を活用した大会運営サービスなど、健康を機軸にリアルとバーチャルを融合したサービスを展開する。



# R3年度 事業実施報告

## 1) トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

2019年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業」中央競技団体による普及・マーケティングに係るモデル形成支援事業において要件定義を実施。要件定義内容を軸に、2020年度から継続し、本事業において構築の推進を行う。

## 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

登録会員やパートナー企業、関連ステークホルダーとのコミュニケーションツールとしてソーシャルネットワーキングサービスなどを用いたサービスの展開を推進し、トライアスロン競技の社会的価値向上を目指す。

## 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進

バーチャルバイクアプリを活用したトレーニングサービス、オンライントレーニングサポートサービス、IoT端末・ウェアラブル端末を活用した大会運営サービスなど、健康を機軸にリアルとバーチャルを融合したサービスを展開する。



## 1) トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

## 事業趣旨・目的

2019-2020年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ団体経営力強化推進事業」中央競技団体による普及・マーケティングに係るモデル形成支援事業において要件定義を実施。要件定義内容を軸に、本事業において構築の推進を行う。現在分散管理されている、選手の大会エントリー情報やリザルト・練習記録・写真などの情報を集約。選手の活動データをプラットフォーム上に一元管理・ビックデータ化することで、選手に対するサービス向上だけでなく、安心安全な大会運営に役立てるほか、将来的には関連企業や団体へデータを提供し、新サービス・商品の開発や販売促進に活用を行う。

## 実施内容と体制

・2020年度に実施の要件定義を軸に「マイポータル」サービスのデモ機能を軸に、2021年度はリザルト表示機能・お知らせ機能の構築と会員システムの連携を行う。

### ■実施体制イメージ



公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU) ・役割：全体進行管理

富士通株式会社

- ・役割：マイポータルシステム開発
- ・実施事項：画面設計およびデザイン制作とWEBアプリケーションデモページの実装

・実施内容

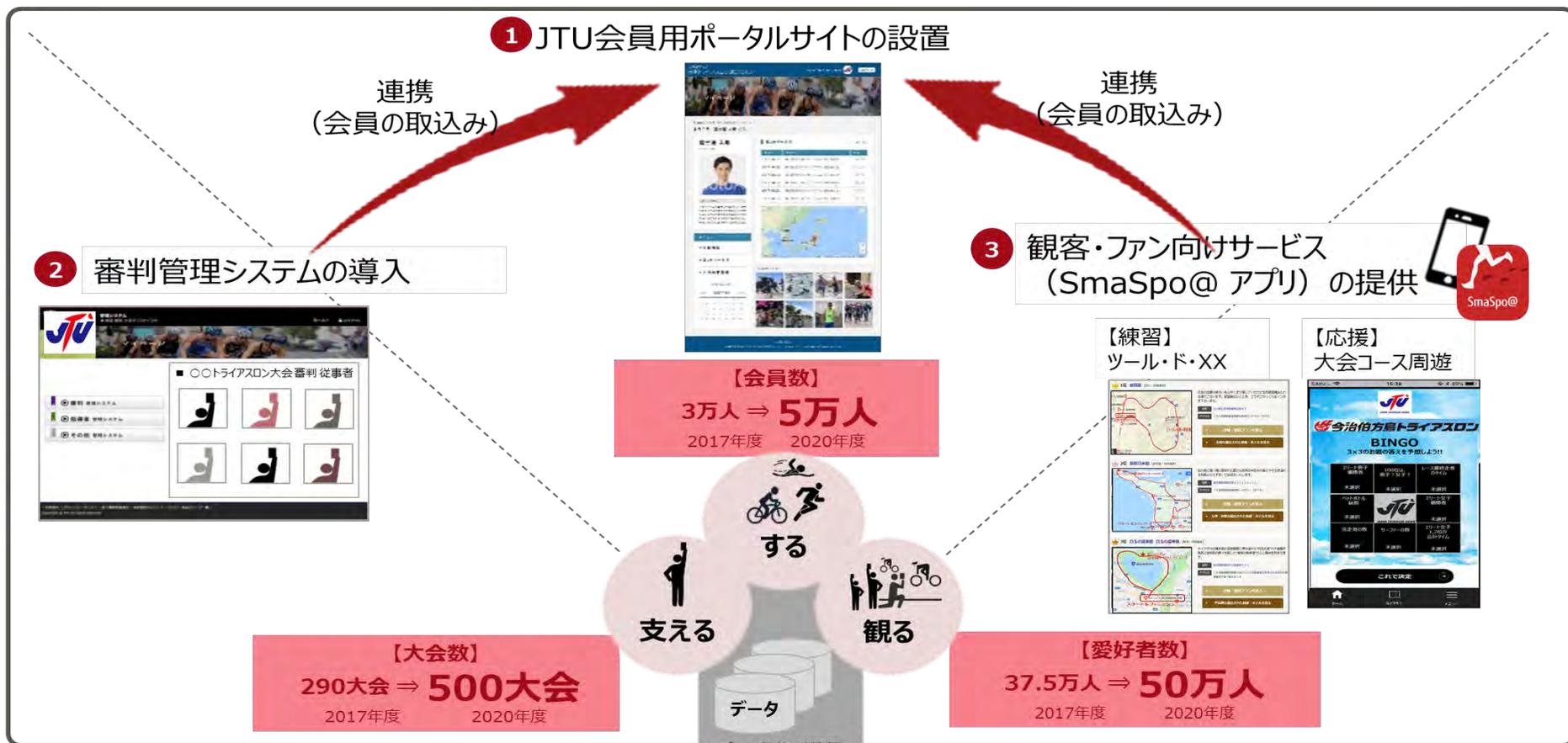
2020年にデモページの実装に向けた画面デザインを基にWeb画面の設計およびデザイン制作を実施。作成したデザインをWEBアプリケーション環境に公開し、β版をリリース。



## 成果と課題

- ・成果物：ポータルサイトフェーズ1 (リザルト表示機能とお知らせ機能) のβ版 (本番環境) のリリース。過去5年分のエイジランキング大会リザルト掲載
- ・課題：・2021年度中に本番環境リリースを実施も。会員の利用実態評価まで実施を行うことができなかった。B版リリースと合わせて、UIの改善をのPDCAサイクルを回し、機能のサービス拡充を行う。

## 全体イメージ



## スポーツデジタルプラットフォーム

データ提供/販売



データの提供/販売先

- JTUスポンサー 選手/顧客の情報分析
- メーカー/卸 商品開発への活用
- メディア 観戦者へのエンタメ/サービス

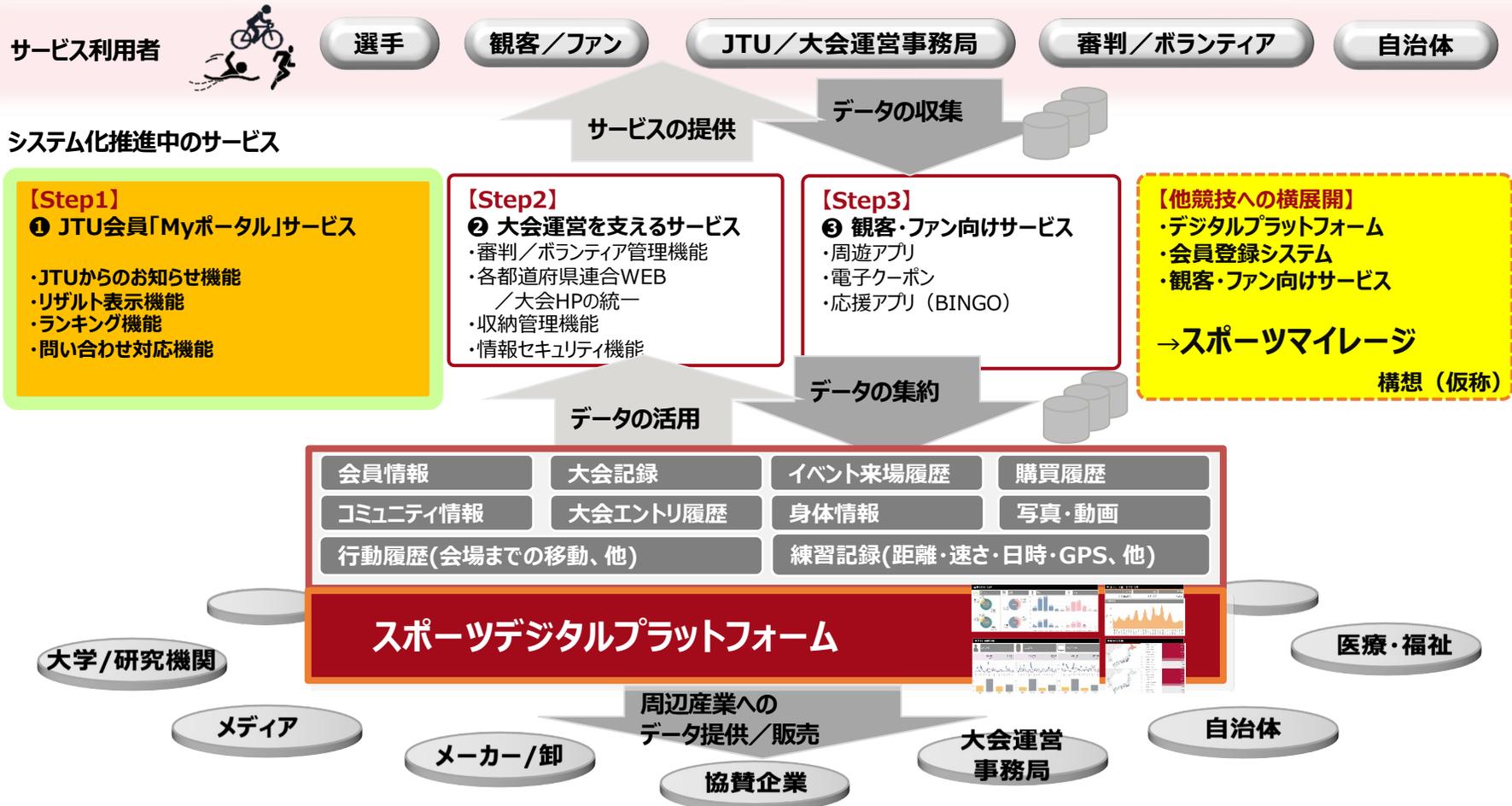
- 行政 都市計画、住民の健康維持、観光客増
- 大学/研究機関 研究への応用



# トライアスロンデジタルプラットフォームの構築の推進

## 全体イメージ

JTU会員登録の価値最大化 及び トライアスロンムーブメントの創出に向けて、JTU会員向け「MYポータル」を充実させ、JTU会員の**満足度向上**、**大会参加数増加**につなげる。



## 施策目的

### JTU登録会員用 スポーツデジタルプラットフォームを構築

「JTU登録会員デジタルプラットフォーム」を構築することで、会員ロイヤリティの向上と、ガバナンス強化、普及拡大の基盤を形成し、持続的な収益構造の確立を推進する。現在分散管理されている、選手の大会エントリー情報やリザルト・練習記録・写真などの情報を集約。選手の活動データをプラットフォーム上に一元管理・ビックデータ化をすることで、選手に対するサービス向上だけでなく、安心安全な大会運営に役立てるほか、将来的には関連企業や団体へデータを提供し、新サービス・商品の開発や販売促進に活用を行う。



IoTを活用したスポーツ界全体における将来構想 「**スポーツマイレージ**」による新産業創出

データ/デジタルを活用したプラットフォームを構築することで、日本スポーツ界の全てのステークホルダーの、さらなる成長を牽引

デジタル&データを活用することで、スポーツファンの「**する**」・「**みる**」・「**支える**」が活性化し、アスリート、ファン、スポンサー、NF にとってのオールWINを実現する

- ☑日本国民全体の健康寿命促進への寄与
- ☑健康意識の醸成と行動変容の促進
- ☑各競技間の垣根が無いコミュニティ
- ☑ユーザ登録制による参加者自身が主導
- ☑各競技間でシェアできるポイント制
- ☑dポイント等の主要ポイントサービスとの連携による裾野の拡がり

## トライアスロンデジタルプラットフォームの構築推進(各画面イメージ/インフラ構成)



**KENTA KODAMA**  
**児玉 健太**  
 1986.04.10

JTU会員番号 / JTU Member ID  
 4131401325 >

加盟団体 / Local Office  
 一般社団法人東京都トライアスロン連合 >

**Ranking**

**2021エイジランキング(スタンダード)**  
 男子30-34歳 386/452  
 1.00pt

**2020エイジランキング(スタンダード)**  
 男子30-34歳 404/981  
 1.00pt

**Recommended Services**

**JTU Official App**  
 JTUの公式アプリとして、国内におけるトライアスロンの大会情報などを提供します。

**Triathlon LIVE**  
 全トライアスロン競技をライブ配信しています。

**enJoy Triathlon**  
 大会に観戦してトライアスロンをもっと楽しめます。

**News**

- 2022.03.21 JTUモバイルβ版配信 >
- 2021.09.24 OO大会開催のお知らせ >
- 2021.09.23 男性向け >

もっと見る

**Result**

- 2021.07.26 第41回トライアスロン 大会名修正 >

参加した大会を見る

**KENTA KODAMA**  
**児玉 健太**  
 1986.04.10

JTU会員番号 / JTU Member ID  
 4131401325 >

加盟団体 / Local Office  
 一般社団法人東京都トライアスロン連合 >

**My Triathlon Story**

**Login**

ログインID (メールアドレス)  
 パスワード

ログイン

ID・パスワードをお忘れの方はこちら >

個人情報保護方針  
 一般社団法人日本トライアスロン連合 (JTU) Copyright © Japan Triathlon Union. All rights reserved.

**Ranking**

**2021エイジランキング(スタンダード)**  
 男子30-34歳 386/452  
 1.00pt

**2020エイジランキング(スタンダード)**  
 男子30-34歳 404/981  
 1.00pt

2019/07/14  
 太平洋トライアスロンinいわき

**大会概要**

開催日	2019/07/14
大会名	太平洋トライアスロンinいわき
開催地	福島県(いわき市)
競技名	トライアスロン
Swim	1.5km
Bike	40km
Run	10km

**記録**

氏名	児玉 健太
性別	男
年齢	33
登録地	東京都
総合順位	174位
総合記録	3:26:29
スイムラップ	0:34:34

## 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進



## 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

Triathlon

### 事業趣旨・目的

競技団体が保有するコンテンツ（権利・資産）を活用したコミュニケーション手法が、収益化（広告効果）、情報の伝達力などの観点から非常に重要となる。動画を含むコンテンツの管理運用の内制化の推進を行い、自社メディアとしての動画活用の推進を図る。2021年度は前年度実施した、コロナ禍でのコンテンツ事例調査をベースに、新様式での生活様式に応じたコンテンツ配信、パートナー企業など関連ステークホルダーのアクティビティの開発を軸に、コンテンツの配信を行った。

### 実施内容

#### 1) マーケティング事業局を中心とした、プロジェクト推進チームの立ち上げ

##### ■実施内容

##### ■新型コロナ コンテンツ事例調査



→Withコロナの環境下の中、スポーツ関連の各種コンテンツ調査を実施

##### ■動画チャンネルの拡充を推進



→「する」「みる」「ささえる」をベースとしたコンテンツの拡充を図り、特設ウェブコンテンツ・サイトを設置。情報掲載を行った。

### 成果と課題

前年度、Withコロナの環境下の中、各スポーツのコロナ渦中におけるコンテンツ事例の調査分析を実施。調査結果をベースに、競技団体のもつ権利・資産の中でどの様な打ち手が効果的であるかの検証を行い、事務局内に設置したマーケティング事業局を中心に、SNSおよびPJ推進のアシスタントディレクターを配置し、コンテンツの制作と配信を行なった。

# 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

## 新様式に応じたコンテンツ事例調査

### レポート概要

#### コロナレポート (COVID-19 REPORT) 概要

ニールセンスポーツは、コロナ禍におけるライツホルダー（チーム、クラブ、協会、大会）、企業（スポンサー、パートナー、ブランド）、地域（官学連携）の活動について、オンライン記事を抽出し、6つの目的に分けて報告いたします。

当レポートには、以下の基準で情報を抽出しています。

媒体：NPB、リーグ、Bリーグ、各協会のHP、Twitter、海外情報、PRTIMES（スポーツカテゴリ）

目的：感染予防、寄付、運動、商品開発、メッセージ、ホスピタリティ

#### 【対象】

- NPB：セリーグ全球団（6球団）、パリーグ全球団（6球団）
- リーグ：J1全チーム（18クラブ）、J2（東京V、FC町田Z、A新潟 etc.）
- Bリーグ：B1全チーム（20チーム）、B2（RZ福岡 etc.）
- 協会、リーグ：JFA、NPB、リーグ、Bリーグ、JVA、JTU、Tリーグ、JABA、Xリーグ、JLA
- ※PRTIMES掲載記事のライツホルダーや個人を含む。

#### 【対象期間】

2020年3月から12月21日まで

#### 【補足】

オンライン記事を引用しているため、場合によって期間切れによって確認できない場合があります。

### アクティベーションにおける6つの目的

#### 感染予防

**<定義>**  
アクティベーションを通して感染症の対策を啓発。

#### <取組事例>

- 手洗い動画
- オリジナルマスク製作
- RH内の感染予防
- 会場における感染予防
- オンライン（感染予防を目的とした活動）



#### 寄付

**<定義>**  
アクティベーションを通して感染症の拡大によって生じた支援活動。

#### <取組事例>

- チャリティ
- 物資支援（消毒液、マスク）
- 食糧支援
- 活動資金支援
- 学習教材



### アクティベーションにおける6つの目的

#### 運動

**<目的定義>**  
アクティベーションを通して感染症の拡大による運動不足解消を啓発。

#### <具体的取組>

- おうちトレーニング
- リレ動画
- 宿題動画
- チャレンジ動画



#### 商品開発

**<目的定義>**  
アクティベーションを通して感染症の拡大によって生じた商品やコンテンツ。

#### <具体的取組>

- マスク、感染症対策グッズ
- ギャピング
- オンライン有料コンテンツ
- クラウドファンディング



### アクティベーションにおける6つの目的

#### メッセージ

**<目的定義>**  
アクティベーションを通して感染症対策の啓発、エッセンシャル・ワーカーへの感謝、地域支援を促す活動。

#### <具体的取組>

- ソーシャルスタンス
- 感染症対策啓発
- ブルーライトアップ
- 学生向け激励動画
- 飲食店TAKE OUT動画



#### ホスピタリティ

**<目的定義>**  
アクティベーションを通して感染症対策によって生じたファンに向けた新サービス。

#### <具体的取組>

- オンライン交流
- 新しい観戦スタイル
- バーチャルスタジアム
- 選手のプライベート
- 試合動画



### COVID-19 REPORT(2020) VOL.1-1 (スポンサー関連取組)

- 主な動き**
- 横浜FCは横浜市との協力のもと、感染症対策に関する動画を制作。
  - 清水エスパルスは「算金百貨店プロジェクト」に参画し、寄付を目的とした洗えるマスクを発売。
  - サガン鳥居、佐賀丸ノ内ーズの選手が県内のこども食堂を訪問。

<p><b>感染予防</b></p> <p>横浜FC感染症予防動画制作のお知らせ</p> <p>新型コロナウイルス感染症の予防対策として、横浜FCは横浜市との協力のもと、感染症対策に関する動画を制作しました。</p>	<p><b>商品開発</b></p> <p>【エスパルス】洗えるマスクを発売</p> <p>清水エスパルスは「算金百貨店プロジェクト」に参画し、寄付を目的とした洗えるマスクを発売しました。</p>	<p><b>寄付</b></p> <p>サガン鳥居選手が訪問</p> <p>2月27日にJリーグが主催する「サガン鳥居選手が訪問」の機会に、佐賀丸ノ内ーズの選手が県内のこども食堂を訪問しました。</p>
--	--	---

### COVID-19 REPORT(2020) VOL.2-1

- 主な動き**
- 湘南ベルマーレは、選手会企画で好評だったインスタライブを復活し、MRO北陸放送協力のもと、ツェーゲン金沢のトレーニングの様子を生配信。
  - 「StayHome」2020アムト日本代表の試合と練習動画をすべて公開。

<p><b>ホスピタリティ(1)</b></p> <p>選手会企画「インスタライブ復活」</p> <p>湘南ベルマーレは、選手会企画で好評だったインスタライブを復活し、MRO北陸放送協力のもと、ツェーゲン金沢のトレーニングの様子を生配信しました。</p>	<p><b>運動</b></p> <p>湘南ベルマーレ、MRO北陸放送協力</p> <p>湘南ベルマーレは、選手会企画で好評だったインスタライブを復活し、MRO北陸放送協力のもと、ツェーゲン金沢のトレーニングの様子を生配信しました。</p>	<p><b>ホスピタリティ(3)</b></p> <p>日本代表試合と練習動画をすべて公開</p> <p>日本代表の試合と練習動画をすべて公開しました。</p>
---	--	--

・新様式に応じたコンテンツ事例調査を実施し、コロナ渦でのアクティベーションについて、研究を進めた。新生活様式に応じ「今、トライアスロンが出来ることを」をキャッチコピーに社会貢献事業としてトップパートナーのNTT東日本・NTT西日本と連携を行い、都道府県加盟団体を中心に実施される事業の支援プログラムを実施。各種コンテンツの開発・推進に務めることができた。

## 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

Triathlon

### 新様式に応じたコンテンツ事例調査

#### TRIATHLON VIDEO

「する」「みる」「ささえる」のテーマから  
トライアスロンの世界をお楽しみください。

ENTER →

#### Love Triathlon

トライアスロンでつながろう、つなげよう。

#### Play 「する」

「する」トライアスロン。トップアスリートの  
練習方法を中心に紹介。



#### Watch 「みる」

「みる」トライアスロン



#### Support 「ささえる」

「ささえる」トライアスロン。



・新様式に応じたコンテンツ事例調査を実施し、コロナ渦でのアクティベーションについて、ニールセンスポーツと連携の上、研究を進めた。新生活様式に応じ「今、トライアスロンが出来ることを」をキャッチコピーに社会貢献事業としてトップパートナーのNTT東日本・NTT西日本と連携を行い、都道府県加盟団体を中心に実施される事業の支援プログラムを実施。各種コンテンツの開発・推進に務めることができた。

## 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

## SNSレポート/Twitter

※実績参照：Twitterアナリティクス

※年間最大値 = 赤字表記

## 2020実績

Twitter	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツイート数	118	149	169	162	154	142	146	162	242	275	252	204
インプレッション	452,172	845,383	641,867	611,529	567,094	583,360	638,166	513,652	668,375	909,249	98,4143	651,713
プロフィールへのアクセス	3,733	6,570	5,925	6,576	5,033	4,704	4,110	3,930	6,465	17,201	14,506	8,414
@ツイート	12	13	21	10	9	23	19	29	26	14	16	16
フォロワー(新)	5,248 (71)	5,319 (67)	5,386 (44)	5,430 (56)	5,486 (66)	5,552 (46)	5,598 (21)	5,619 (36)	5,655 (47)	5,702 (105)	5,807 (48)	5,855 (8)

ツイート数平均：181.3 /月、フォロワー増加数：645 (12.4%増)

大会開催のあった2月と再開した10月に多くインプレッションを獲得。10月は平均月の2倍以上のフォロワー増、アクセス数最大。インプレッションは11月が最高。フォロワー増加数は昨年度から比較して-43%。ただ、テストイベント開催都市との比較は難しいといえる。

## 2021実績

Twitter	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ツイート数	193	183	232	238	273	223	190	232	218	200	188	193
インプレッション	628,703	581,758	648,618	855,950	1,074,333	814,343	830,974	1,340,616	804,155	588,537	503,279	477,058
プロフィールへのアクセス	7,847	6,730	9,866	18,178	36,305	30,566	43,498	44,410	31,820	33,978	29,593	22,735
@ツイート	7	5	10	55	82	19	92	142	40	27	35	15
フォロワー(新)	5,901 (46)	5,945 (44)	5,958 (13)	6,038 (80)	6,113 (75)	6,178 (65)	6,454 (138)	6,541 (87)	6,642 (101)	6,692 (50)	6,707 (15)	6,731 (24)

ツイート数平均：213.6 /月、フォロワー増加数：738 (14.9%増)

東京2020オリンピック・パラリンピック開催において、2016年リオ大会でツイッターを開設して以来のインプレッション最高値を8月に記録。また、アジア選手権に続き、Tokyo2020クオリフィケーションランキング期間の重要な国際大会（横浜他）のあった5月にこれまでにない高い数値を獲得できた。自国開催のオリパラ効果もあり、全ての数値において大きく伸びた1年となった。

## 2) ソーシャルメディア関連サービスによる情報発信の拡充と推進

## SNSレポート/FaceBook

※実績参照：Face Bookインサイト

## 2020年：実績概要

※年間最大値＝赤字表記

FB	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フォロワー (新)	14,394 (40)	14,423 (29)	14,442 (19)	14,577 (135)	14,615 (38)	14,664 (49)	14,679 (15)	14,684 (5)	14,702 (18)	14,752 (50)	14,798 (46)	14,821 (23)
リアクション	14,099	14,123	14,127	14,227	14,245	14,277	14,279	14,278	14,289	14,312	14,343	14,348
リーチ数 月最高	9,716 1/12	10,395 2/27	12,309 3/14	33,172 4/17	8,862 5/25	9,050 6/7	8,405 7/29	7,004 8/22	5,980 9/1	7,879 10/10	8,545 11/7	6,637 12/12
投稿数 (平均/日)	64 (2,1)	77 (2,7)	82 (2,6)	74 (2,5)	66 (2,1)	58 (1,9)	68 (2,2)	79 (2,5)	86 (2,9)	124 (4)	112 (3,7)	95 (3,1)

フォロワー増加数：467 /年 (3.3%増)

大会開催機会が激減し、ライブ投稿がなかったことで、昨年よりも記事の作成や情報収集に力を入れて取り組む必要がある年となった。

最大リーチ数を得た投稿は、JISS発信「屋外でのランニング時に気をつけるべきソーシャルディスタンス」に関する紹介の投稿削除案内について。

大会が開催された2月、COVID-19関連で休止宣言が出るまでの期間の記事に注目度が高まった。大会開催数が少なかったにもかかわらず、前年に劣らないリーチ数の高い投稿が出来た。一方で、フォロワー数の伸びは停滞。フォロワー増加数は昨年度から比較して-42%で、動きは鈍かった。

## 2021年：実績概要

FB	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フォロワー (新/脱)	15,063 (27/-5)	15,067 (34/-4)	15,073 (37/-6)	15,113 (64/-40)	15,143 (53/-23)	15,146 (36/-33)	15,155 (37/-28)	15,172 (53/-36)	15,180 (41/-33)	15,173 (20/-27)	15,171 (24/-26)	15,175 (20/-16)
エンゲージメント	20,095	14,996	16,803	35,329	36,763	31,579	29,264	40,388	27,899	18,980	16,137	16,346
リーチ数 月最高	6,394 1/6	5,793 2/4	5,282 3/1	40,862 4/11	41,267 5/13	34,388 6/22	39,408 7/23	53,526 8/28	38,805 9/1	22,039 10/18	27,781 11/7	24,616 12/8
投稿数 (平均/日)	103 (3,3)	113 (4)	115 (3,7)	113 (3,8)	109 (3,5)	99 (3,3)	98 (3,2)	110 (3,5)	101 (3,4)	98 (3,2)	96 (3,2)	100 (3,2)

フォロワー増加数：354 /年 (2.3%増)

前年よりも普及イベント開催数は増えたが、実際の大会においてはコロナ禍同様の開催数の実施はできなかった。=大会開催関連投稿の減少。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、NFからの発信に制限があったものの、8月9月にはフォロワー数がピークに達し、特にオリンピック期間はエンゲージメントとリーチ数が最高値を記録した。※実績値は2022年4月11日現在。前年度と比較指標が異なる。

### 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進



### 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進 Triathlon

#### イベントの目的・KPI

##### ■目的

新型コロナウイルス感染症の影響による相次ぐトライアスロン大会の中止を受け、トライアスロートのパフォーマンスを発揮できる場の創出を目指し、コロナ禍における新たな大会、イベントの在り方の検証を行う。

開催中止となった『村上・笹川流れ国際トライアスロン大会』のバイクコースを、バーチャルサイクリングアプリとスマートトレーナーを使用し、屋内で走行、順位を競うイベントを実施する。

##### ■KPI

- ・バーチャルサイクリングイベントの継続的実施の可能性を多角的視点で検証する。
- ・イベント参加者100名を目指す。



# 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進 Triathlon

## 村上・笹川流れ国際トライアスロン大会

### 「トライアスロンの灯を消さない」

村上・笹川流れ国際トライアスロン大会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、昨年から2年連続の中止となり、多くのトライアスリートから「村上に行きたかった」「楽しみにしていた」「あのバイクコースを走りたい」等という、大会開催を惜しむ声が寄せられた。(村上・笹川流れ国際トライアスロン大会hpより)

トライアスリートの声に応えるべく、「トライアスロンの灯を消さない」を合言葉とし、村上コースを採用したバーチャルサイクリングイベントを企画・実施した。

村上コースは、雄大な日本海を横に臨む海岸沿いの国道を完全交通止めにして日本海の景勝地、笹川流れを眺めながら折り返すコース。海外の選手からも絶大な人気を誇るロケーションを参加者は楽しみながら走行することができた。

村上・笹川流れ国際トライアスロン大会  
NTT ASTC トライアスロンアジアカップ

NTT triathlon  
Asian Cup

NTT triathlon Japan Ranking

Home クリーン作戦 公式記録 NPO法人村上トライアスロン 地域の紹介

**トライアスロンの灯を消さない!**  
村上・笹川流れ国際トライアスロン大会バーチャルサイクリングイベント

村上大会のコースをバーチャルで体験できます!

☆☆☆☆イベント期間：10月10日(日)～10月31日(日) 23:59  
☆☆☆☆結果発表：11月1日(月) 18:00予定☆☆☆☆賞品あり

※参加申込受付中※  
参加申込は10月30日(土) 18:00まで。詳細(準備品等)につきましては下記項目をご覧ください。【へへ】

開催要項  
【イベント名称】  
村上・笹川流れ国際トライアスロン大会「バーチャルサイクリングイベント」

【開催日程】  
エントリー期間：2021年9月30日(木) 11:00から2021年10月30日(土) 18:00まで  
イベント開始：10月10日(日) 11:00から  
イベント終了：10月31日(日) 23:59まで  
最終結果発表：11月1日(月) 18:00予定

【イベントサイト】  
<https://www.virtualcycling.jp/murasami/>  
\* 9月30日11時オープン

triathlon  
JFU  
村上市

# 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進 Triathlon

## イベント特設ウェブサイト

トライアスロンへの熱い想いをメッセージとし、参加者の使いやすさを重視したイベント特設ウェブサイトを開設。



トライアスロンの灯を消さない。  
村上から、今できることを届けたい。  
スポーツの力を信じて  
さあ、みんなで一緒に盛り上がろう。



### ABOUT

バーチャルサイクリングイベントとは、リアルを基にもオンラインで開催されるサイクリングイベントです。  
本日のイベント開催距離は161.74km(仮定、詳細は後述)。  
イベント参加者は好きな場所からオンラインで参加できます。  
コロナ禍で様々なイベントが中止となるなか、トライアスロンの灯を消さないように、この特設のバーチャルイベントを開催します。

### RECOMMEND FOR

こんな方にオススメ

村上大会に参加  
しようとしていた…

バーチャルで村上大会のコースが体験できます。そのリアル感をお楽しみください。

最近練習する  
時間がない…

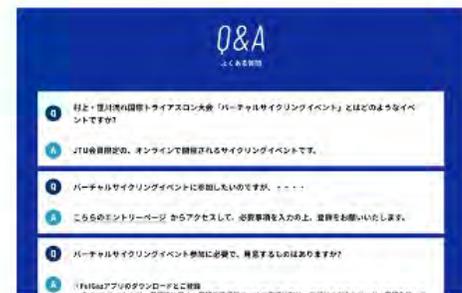
屋内だから、ご自分のペースで、好きな時間に好きな場所でご参加ください。

安心安全にスポーツ  
を楽しみたい！

人との距離を気にすることなくイベントに参加することができます。



現在のランキングを掲載。参加者の競争心を掻き立てる。何度でも挑戦できるのはバーチャルイベントの魅力の一つ。



想定されるQ & Aを掲載。イベント期間中の問合せは1件のみ。(ご案内メールが参加者のメール受信制限により未受信)

# 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進 Triathlon

## イベントの様子

FulGazアプリをiPad等のデバイスにダウンロードし、スマートトレーナーとBluetoothで接続したら、スタート！



FulGazアプリを起動し、村上コースを選定



記録を登録



いざスタート！



完走！！！！



美しい海岸沿いの景色を楽しみながら走行



ゴールゲートをぐり・・・



参加者の声：

- ・想像以上にきつかったが、楽しみながら、走行できた。
- ・またトライアスロン頑張ろうと思わせてくれるようなレースだった。

# 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進 Triathlon

## イベント結果

最終参加人数は、総合計**105**名 vs KPI 100名 という結果だった。

Powered by FOLGAZ

Position	Name	Location	Time	Distance	Age Group	Gender
1	A Ebina	Japan	59:55.7	38.95 KM		
2	h uemura	Japan	60:47.5	38.95 KM		
3	K Suda	Japan	63:32.1	38.95 KM		
4	D Voelings	Netherlands	64:27.4	38.95 KM	40-44	Male
5	J Tranter	United Kingdom	64:29.1	38.95 KM	45-49	Male
6	H Negahira	Japan	64:48.0	38.95 KM	45-49	Male
7	北 真紀	Japan	64:48.5	38.95 KM		
8	R Garwood	United States of America	65:35.5	38.95 KM	55-59	Male
9	D Chénier	Canada	65:54.7	38.95 KM	60-69	Male
10	Kim de la Fuiz	Australia	65:59.4	38.95 KM	40-44	Male
11	D Bird	United Kingdom	66:01.8	38.95 KM	35-39	Male
12	M Hutchinson	United Kingdom	66:30.7	38.95 KM	45-49	Male
13	D Kinzias	Germany	67:32.1	38.95 KM	50-54	Male
14	M TOKI	Japan	67:58.3	38.95 KM		
15	K Hasegawa	Japan	68:35.1	38.95 KM		
16	J S	Ireland	68:44.2	38.95 KM		
17	Br Luka	Croatia	68:48.0	38.95 KM	40-44	Male
18	...	...	68:53.8	38.95 KM		

### 最終エントリー人数

国内 66名  
海外 60名  
総合計 126名

### 最終参加人数(コースを走った人数)

国内 46名  
海外 59名  
総合計 105名

### 結果発表

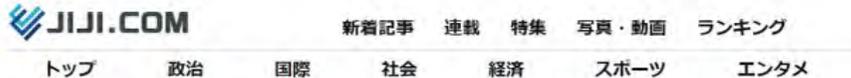
- ・総合1位：59分55秒7
- ・男子1位：60分47秒5
- ・女子1位：75分41秒4

※総合1位が男性のため、男子1位の表彰は男子2位の選手が対象。

※総合1位：大観荘（村上市）ペア宿泊券  
男女1位：大観荘（村上市）シングル宿泊券

# 3) 「健康スポーツ＝トライアスロン」リアル×バーチャル サービスの推進 Triathlon

## メディア・SNS



時事ドットコムニュース > PR TIMES > トライアスロンの灯を消さない！日本トライアスロン連合初のバー...



### トライアスロンの灯を消さない！日本トライアスロン連合初のバーチャルサイクリングイベントを開催サポート！

トップ ニュース イベント  
村上・笹川流れ国際トライアスロン大会 バーチャルサイクリングイベント開催 ワイ・インターナショナルがサポート

#### 村上・笹川流れ国際トライアスロン大会 バーチャルサイクリングイベント開催 ワイ・インターナショナルがサポート

2021.10.08 イベント

#トライアスロン #バーチャルレース

2021年10月10日(日)から2021年10月31日(日)まで、「村上・笹川流れ国際トライアスロン大会 バーチャルサイクリングイベント」が開催される。これは日本トライアスロン連合(JTU)として初となるトライアスロンのバーチャルイベントだ。2021年9月26日(日)に予定されていた「村上・笹川流れ国際トライアスロン大会」は新型コロナウイルスの影響で中止になったが、開催を望む声が全国から寄せられたことをきっかけとして行われる。

PR TIMES

#### 【10/10-31】村上・笹川流れ国際トライアスロン「バーチャルイベント開催」

PR TIMES

Genoa

新しいイベントを創造する。

**VIRTUAL CYCLING EVENT**  
in MURAKAMI



#### トライアスロンの灯を消さない！日本トライアスロン連合初のバーチャルサイクリングイベントを開催サポート！

2021年9月30日 15:44 PR TIMES

1ページ目から読む

本来走行予定であった村上・笹川流れの美しいVバイクコースを可能な限り再現しているため、本バーチャルサイクリングイベントに参加のアスリートは、リアル練習でチャレンジすることができます。また、来年の開催に備え練習することもできます。

以下はイベントの概要になります。



**平良(たいら) エレア**  
ミスユニバース沖縄代表(2017年)  
フィットネスモデルとして活動するかたわら、マラソンやトライアスロンにも積極的に参加